

石川県能美市立寺井小学校 校内研修・GIGA実践集

寺井小学校 GIGAリーダー 竹内 央

今回の校内研修・実践集作成にあたって...

- ・今年度は、能美市としても、「まずは使ってみよう！」というところからスタートしました。
- ・1日の活動目標を「1日2回以上はChrome bookにさわる機会を作る」と設定しました。活用することが目的となり、本末転倒に思われる部分もありますが、「やったことで課題や成果等見えてくるものがある」と思いながら児童・教師ともに使っています。
- ・実践例集は各学年ごとにまとめました。課題が残るものももちろんありますので、指導の一例として受け取っていただけたらと思います。

寺井小学校・GIGA中間計画，年間計画 めざす姿

中間 目標	<p>「使ってみる・慣れる」</p> <ul style="list-style-type: none">・ 1日に2回は端末を使用する。（授業，帯タイム等）・ Googleアプリを低学年は1つ以上，中学年は2つ以上，高学年は3つ以上触れた経験がある。	<p>【教員】</p> <ul style="list-style-type: none">・ ドキュメント，スプレッド，スライド，フォームを使うことができる。
年間 目標	<p>「授業で活用する」</p> <ul style="list-style-type: none">・ 授業中，Googleアプリを活用し，個人思考や意見交流を行ったことがある。・ Googleアプリを低学年は2つ以上，中学年は4つ以上，高学年は6つ以上触れた経験がある。	<p>【教員】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学年間で，ドキュメント，スプレッド，フォームを活用した実践を交流したことがある。・ フォームをアンケートやテストで活用することができる。

目標「令和3年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・ 全教員が基本的なChrome bookのスキルを知り，日々の授業の中で，活用することができる。
- ・ 全教員が，共同編集機能の方法を知り，どのような学習場面で活用できるか考えることができる。

寺井小学校・GIGA研修の足跡(1学期分)

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	GIGA校内研修, 新しい授業づくり研修について ・年間計画提案, ステージ1・2の動画視聴 (必須)	GIGA校内研修推進リーダー	4/30 (金) 第1回GIGA校内研修推進リーダー研修 ※年間計画持参
5月	Chrome book校内研修 ・Googleアプリの基本的な操作 (ドキュメント, スプレッド, スライド, フォーム等)	GIGA校内研修推進リーダー	5/7 (金) 新たな授業づくり研修受講状況報告 1次締切
6月	Chrome book校内研修 ・検索サイト, AIドリル, 学習サイトの活用方法 ・ステージ3の動画視聴 (2月末までに) ・職員終礼で, 各学年の実践報告 (~2月末まで)	GIGA校内研修推進リーダー 各学年報告 (6年, 5年)	
7月	Chrome book校内研修 ・授業内での活用方法提案 ・各学年での実践集約 ・職員終礼で, 各学年の実践報告	GIGA校内研修推進リーダー 各学年報告 (4年~1年)	

校内研修を進めるときに気をつけた点

- ・ 単純なPCスキルでのミニ研修は主に各学年の若手・GIGA担当を中心に指導し、その学んだ内容を各学年に広めてもらう、という形を取りました。そうすることで、若手は学んだスキルの復習にもなるし、ベテランの先生方は研修に参加せずともスキルアップできました。
- ・ 授業での活用に重きをおいた研修では、基本的に全員参加としました。
教師全員が自分たちのクラスで指導することが基本となるので、しっかり学んでもらえるよう時間を設定しました。また、今後の実践に役立ててもらいたいということも狙いとしたので、なるべく研修内容に「その研修でテーマとしているアプリ・サイトを活用した教材研究」の時間も盛り込みました。

各学年別Chrome book活用事例集

1年生 国語「くちばし」(カメラ, オクリンク)

- 1 本からお気に入りのくちばしを選ぶ
- 2 お気に入りのくちばしをオクリンクで編集し共有

成果：・絵本の数が少ないときでも、クロームブック上にデータがあることで児童一人一人がいつでも見返して考えることができる。

・画面上で児童がそれぞれ発表を聞くことができるので、わかりやすい発表になった。

課題：・時間がかかる

・勝手にさわってしまう

1年生 夏休み工作・研究紹介(カメラ, オクリンク)

夏休み工作・研究をオクリンクで撮影し、テレビに映しみんなの前で発表した。

- 【成果】
- 夏休みの宿題として撮影をすることですんなりとみんなの前で発表することができた。
 - 作品を画面上で見ることができるので、わかりやすい発表となった。
 - オクリンクは自分たちで家でできるようになった。

2年生 生活科 「とびだせ！町のたんけんたい」(カメラ)

- ①グループに1人カメラ係を決める。
- ②カメラ係はクロムブックでお店の様子を撮影する。
- ③撮影した写真はクラスルームにアップし、担任が写真を印刷する。

成果：自分たちが撮った写真を活用して新聞づくりに生かすことができる。

写真をクラスルームにアップするやり方を理解することができた。

課題：うまく写真が撮れていないグループがあった。



2年生 生活科 「やさいをそだてよう」(カメラ, スライド)

- ① 自分の野菜をカメラで撮影
- ② かんさつ日記をスライドで作成

成果：カメラの使い方と手書き文字入力の練習にもなった。

課題：一人ずつ印刷するとなると、かなりの労力がかかる。

校務用PCにデータをダウンロード

→ 1枚ずつ印刷

という流れになる。職員室の環境整備が課題か？

2年生 図工 「2年生になったわたし(自画像)」(カメラ, ファイル)

- ①自分の顔を一枚、マスクをはずして写真を撮る。
- ②写真を見ながら、自分の顔を書く。

成果：コロナ禍でマスクを外せないなので、しゃべらずにマスクをはずして自分の顔を撮影し、写真を見ながら書くことができてよかった。

課題：4月始まってすぐにしたので、学年で統一して実施できなかった。

2年生 図工&国語 ぼく・わたしのすてきなぼうし「ミリーのすてきなぼうし」(カメラ, オクリンク)

国語「ミリーのすてきなぼうし」の学習後、図工の時間に自分たちのすてきなぼうしの絵を描き、みんなで作品の良さを共有した。

成果：1学期終了間際で交流する時間を取ることができなかったが、写真を撮って全員の帽子を見合うことができた。

帽子を頭に合わせて写真を撮ることで、絵を飾るだけよりも、かぶった雰囲気が出てよかった。

課題：写真を撮る技術がまだ伴っていない児童もいて、帽子が切れたり顔が写っていない児童もいた。

写真を見て感想を伝え合うことはできたが、ICTを活用する力をさらに高めて、コメントを書き合うことができるようになれば、さらによいと思った。

2年生(かがやきとの交流)国語「雨のうた」(カメラ, オクリンク)

「雨のうた」の詩をオリジナルでつくり、交流学級とリモートでグループ活動をした。

成果：かがやき在籍児童が、「友達と交流できて嬉しい」という気持ちになったり、授業に参加したりすることができた。

課題：子どもたちだけで話し合いをするのはPCのスキル面から難しく、先生が指導をして、関わる必要があった。



19. 中川 りお

3年生 総合「自己紹介カード」寺井地区(寺井小、粟生小、湯野小)

(Classroom, Jamboard, meet)

成果：jambardへの写真の挿入の仕方がわかり、習いたてのローマ字を使って文字を打ち込むことができた。

課題：触っている途中で消えてしまう子がいた。

→すぐに戻るマークをタッチすることを教えていく。

文字を打つのに時間がかかる。

→授業のスキマ時間にキーボードを使いタイピングの練習をしていく。

好きな食べ物.. イクラ

好きな習い事.. 習字

しょう来の夢.. 学校の先生

好きなこと.. 手紙、おり紙

好きなスポーツ.. トランポリン

好きな教科.. 体育、図工

Video thumbnail showing a person in a classroom setting.

3年 総合 「民話に親しもう」(スライド, キーボー島)

グループで調べたこと（登場人物・民話が伝わる場所・あらすじ 始め・中・終わり）を一人一枚分担して、グループごとにまとめて発表した。

成果：画像の挿入、文字の色や大きさなど効果機能を使う経験ができた。

消去してしまいパニックになった場合「戻る」を押せばよいと、確認していたため大きな混乱はなかった。

課題：下書きを用意していたが、作成をする能力（手書き・ローマ字打ち）の差や完成型のこだわりがあり、設定した時間でできず休み時間までかかった児童もいる。

一人一枚のスライドをグループ化したり、一枚ずつ作成したものをまとめたりと教師の前持っでの準備にも時間を要した。

4年生 算数科「平行と垂直と三角形」適用題：身の回りの平行をさがしてみよう。
(カメラ, オクリンク)

成果：身の回りの平行について意欲的に探そうとする姿が見られた。見つけた平行に垂線を書き込むことができる。学習した内容の確認ができた。

課題：児童に次々と投稿させてしまったため、ボード上が乱雑な状態になってしまった。思考・判断・表現のB規準は、「2本の直線が交わるように垂線を引くと平行になる」と設定した。しかし、写真を貼ることに熱中し、その証明を図説するまでに至らなかったためB規準に到達している子の見取りが十分できなかった。

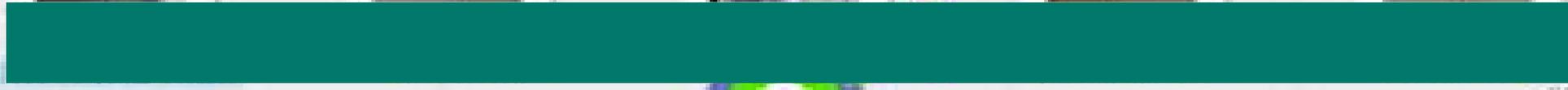
START [Video Grid] [Zoom Controls: Stop Video, Mute, Chat, Help] [Zoom Meeting: 48-101-10000]



[Video Grid] [Zoom Meeting: 48-101-10000]



[Video Grid] [Zoom Meeting: 48-101-10000]



4年生 総合「身近な環境を調べよう」の発表（スライド）

成果：調べたことを1人1シート以上を担当し、それぞれがまとめることができた。

写真の挿入の仕方（自分の撮影した写真、ネットから）や効果をつける方法を理解することができた。

課題：1人ずつ別のスライドを作ってシートを作成したが、みんなのものを合わせると消えてしまうことが何度もあった。

カラフルにすることばかりに気を取られ、見やすさの視点を十分に与え切れなかった。

八丁川の地理について

スライド

八丁川の地名の由来を調べて

八丁川は、**湯野川**（湯野小学校の川）から流れて、**よしきり**と**湯野**の両方を流れている。その間に、**八丁**という地名があります。



湯野から流れているよ！

よしきり山植物

八丁川の主な植物は、湯の木のやぶに生える**よしきり**です。湯の木の葉は、生で食べられて、よしきりに葉は、食べられません。（湯の木の葉の味が一番美味しい）



よしきり

調べてわかったこと

- 八丁川は、**湯野川**と**よしきり**の両方から流れて、**よしきり**と**湯野**の両方を流れている。よしきりから流れてくる。
- 湯の木の葉は、生で食べられて、よしきりに葉は、食べられません。
- 湯の木の葉の味が一番美味しい。



湯の木の葉の味が一番美味しいよ！

八丁川の名の由来

- 八丁川は、**湯野川**と**よしきり**の両方から流れて、**よしきり**と**湯野**の両方を流れている。よしきりから流れてくる。
- 湯の木の葉は、生で食べられて、よしきりに葉は、食べられません。
- 湯の木の葉の味が一番美味しい。
- 湯の木の葉の味が一番美味しい。



八丁川「何故」のクイズ(その1)

八丁川は、流れる方向で左右が決まる。○か×か？

答え

正解は、……、○！！
流れる方向で左右が決まります！

八丁川「何故」のクイズ(その2)

よしきりの葉は、食べれる。○か×か？



答え

正解は、……、×です！
よしきりの葉は食べられません!! (食べないでね)

八丁川「何故」のクイズ(その3)

八丁川は、どこで始まる？
1 北海道
2 湯野小学校
3 アメリカ

答え

正解は、……、2の湯野小学校です！！
みんな、わかったかな？



よりのけり

八丁川は、湯野川とよしきりから流れて、よしきりと湯野の両方を流れている。よしきりから流れてくる。よしきりの葉は、生で食べられて、よしきりに葉は、食べられません。湯の木の葉の味が一番美味しい。

5年 総合実践 「九谷焼の魅力を伝えよう」(スライド)

スライドで、スライドの面白い使い方を紹介し合いました。

成果：総合での成果物をスライドで作っているのですぐに学んだことを生かしていた。（「九谷焼の魅力を伝えよう」スライド）

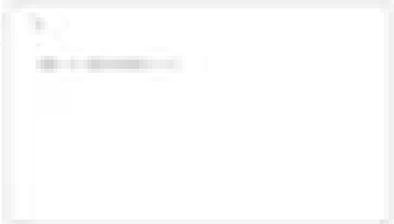
説明する文章を書く力が身につく。

課題：タッチパネルを使っている児童が誤って、画面スライドではなく範囲指定をしてしまって、友達のスライドをごっそり消してしまうことがあった。これ以後、タッチパネルでの操作ではなく、タッチパッドによる操作に切り替えさせた。

1



2



3



4



5



1

拡大から消失のやり方

- 1 動かしたい文字や写真をクリック。
- 2 わくが青い状態で右上の「・・・」をクリック。
- 3 おにめ

クリックするとスピーカーノートを追加できます

5年 国語科 「日常を十七音で」(Jamboard)

ジャムボードに作った俳句の写真を載せ、俳句を見せ合いました。

成果：感想を付箋に書き、共有できるようにしました。写真は動かないように「背景を設定」で載せました。

課題：「さっきはあった付箋が消されている・・・」というトラブルがありました。他人の付箋には触らない、万が一消えてしまったら報告するなど事前にきまりをしっかりと伝えておかないといけないなあと思いました・・・

5年生 算数 「合同な図形」(Jamboard)

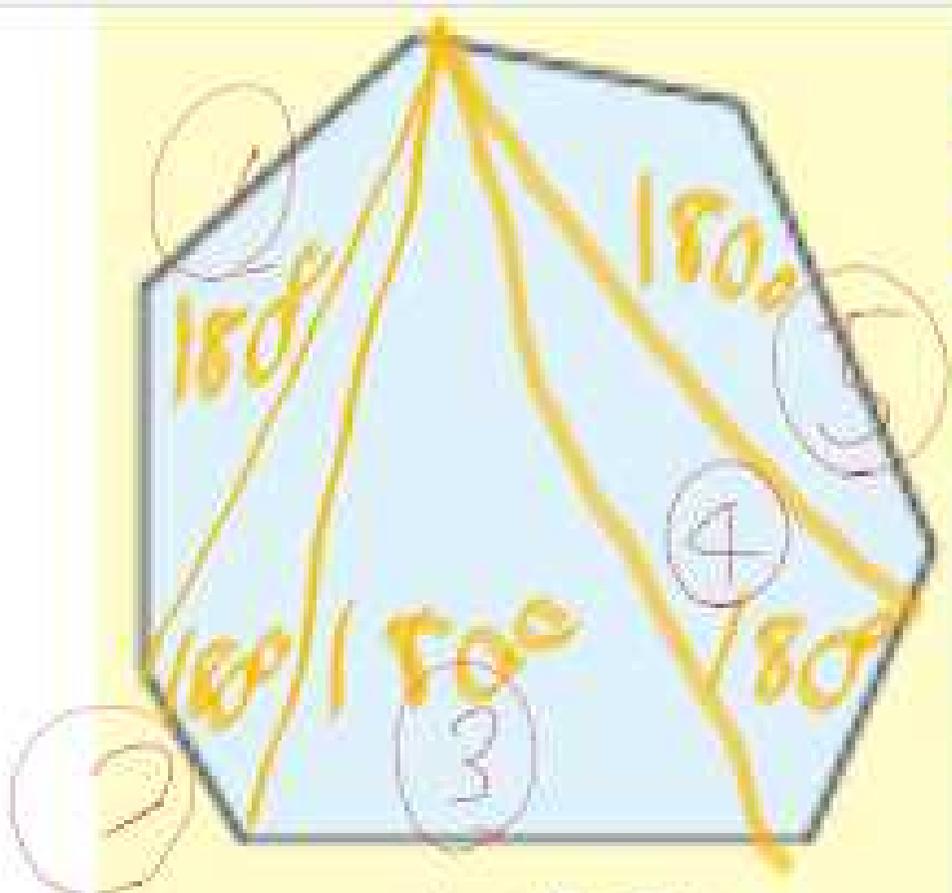
成果：タッチペンがあることで正確に線を引いたり、計算を書くことができた。

自分の意見に迷ったときにすぐに友達の見解を見ること
ができた。

課題：図形を分けるときに真っ直ぐな線を引くことができな
いので、説明する文章と合わせて書くと、やや見にくく
なることがあった。



2



七角形

5つの三角
形に分け
ける
 $180^\circ \times 5 =$
 900°



6年 国語科 「たのしみは」(オクリンク)

成果：オクリンクに自分で作った短歌を投稿し、みんなで見合いました。集まらなくても見合えてよかったです。
評価もしやすかったです。

課題：まだまだ、書くのに時間がかかる。

それぞれの画面に短歌が書かれています。

<p>「たのしみ」の短歌を作ろう</p> <p>あはれ 春の風 吹くとき 花は さかすか 咲き出す</p> <p>1. [Redacted]</p>	<p>完成品</p> <p>2. [Redacted]</p>	<p>「たのしみ」の短歌を作ろう</p> <p>あはれ 春の風 吹くとき 花は さかすか 咲き出す</p> <p>1. [Redacted]</p>
<p>あはれ 春の風 吹くとき 花は さかすか 咲き出す</p> <p>2. [Redacted]</p>	<p>「たのしみ」の短歌を作ろう</p> <p>あはれ 春の風 吹くとき 花は さかすか 咲き出す</p> <p>3. [Redacted]</p>	<p>完成品</p> <p>4. [Redacted]</p>

6年生 国語科 「私と本」(カメラ, スライド)

成果：画像を取り込むだけでなく、トリミングをする、反射を消すなどの画像の処理ができるようになった。

伝わりやすくするために、文字の変化、アニメーションなどの工夫も取り入れることができるようになった。

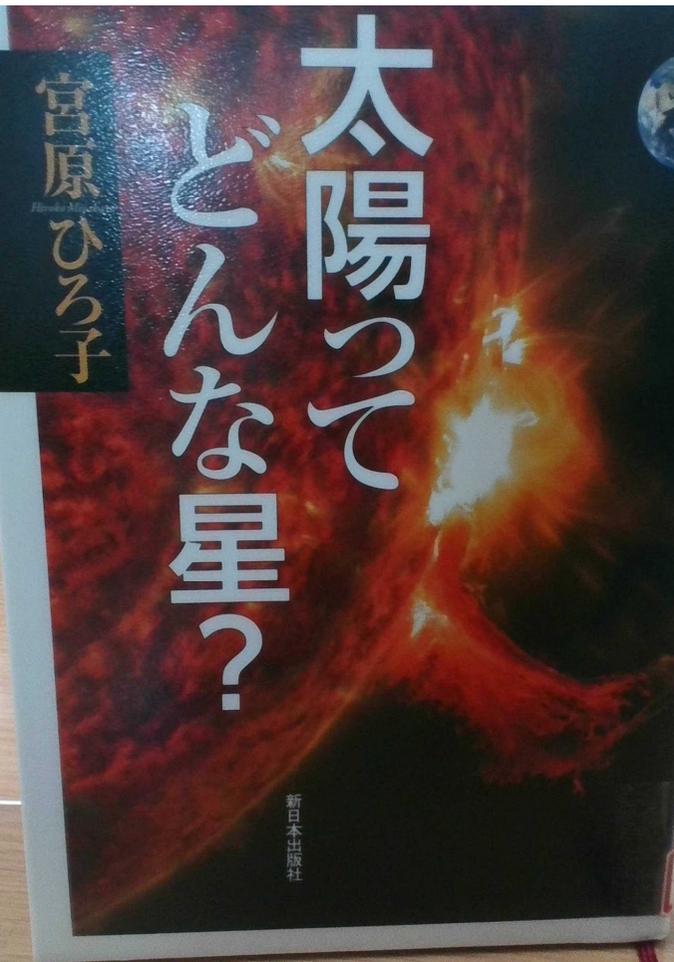
プレゼン作成は国語、総合、外国語などで行ったので、どの子も戸惑うことなくできるようになっている。

課題：文章を書くのにノートメモからまとまらず、時間がかかる子がいる。

何枚かのスライドを作るのに統一感がなく、紹介文のまとまりに欠ける子がいる。

現状の机では、本、クロームブック、ノートを見ながらだと作業がしづらかった。

国語・成果物例



太陽ってどんな星？ 宮原 ひろ子

この本は、若手科学者として太陽の研究をしていた作者が太陽の謎について書いた本です。

この本のおすすめポイントは、太陽の歴史についてです。私はこれを読んで、太陽にも長い長い歴史があるんだなとおもいました。

一冊目



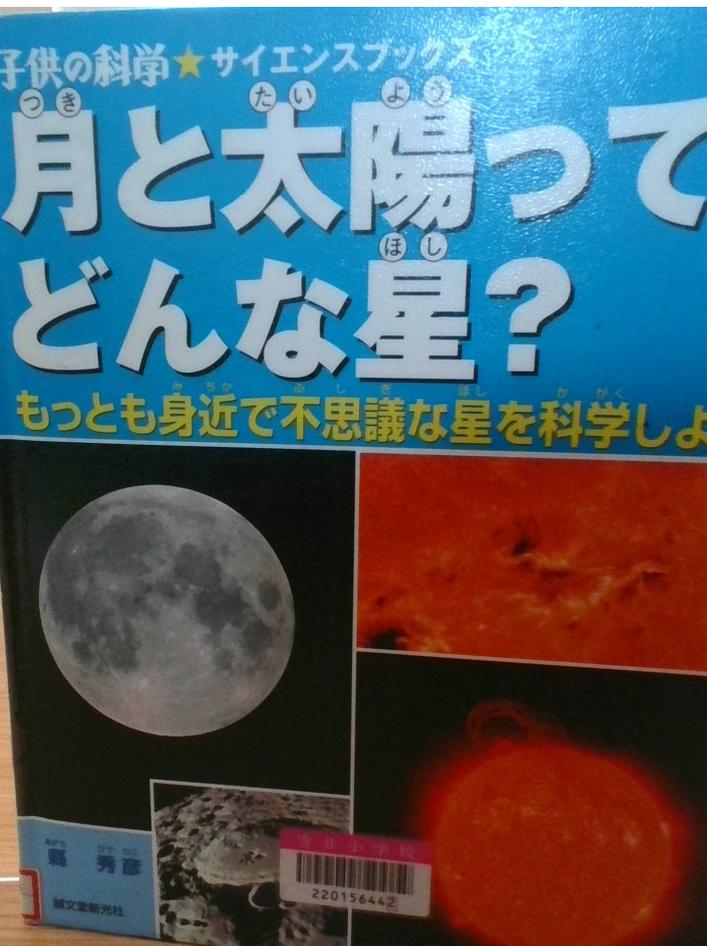
国語・成果物例

宇宙のふしぎ 松井 孝典

この本は、みんなが疑問に思っているような宇宙のふしぎについて書いてある本です。

この本のおすすめポイントは、惑星についての知識についてです。私はこれを読んで、宇宙はいろいろな歴史が詰まっているんだなと思いました。

二冊目



国語・成果物例

月と太陽ってどんな星？ 懸 秀彦

この本は、宇宙のことを豊富な写真やイラストで紹介している本です。

この本のおすすめポイントは、月の形が変わる理由についてです。なぜ月の形が変わるのか気になっていた人もいないのでしょうか。私はこれを読んで、月と太陽の関係性がとても深い事がわかりました。

最後に

私は、本とは様々な知識が溢れていて、自分にとって未知の世界を教えてくれるようなものだと思います。

みなさんも、自分の知らない世界を、本を手にとって学んでみましょう。そうすれば、自分の知りたいことが深く分かると思います。

6年生 図画工作 「今の気持ちを形に」(カメラ, オクリンク)

成果：おいしそうに見せるというポイントを話してから写真を撮ったので、どの子もさまざまな角度で写真が撮れた。

課題：写真を撮る前に、いくつかの画像を見せ、セールスポイントと合うように指導すべきだった。セールスポイントの文章の内容がわかるような写真の撮り方につなげることができなかった。

全体を通しての成果

- ・ どの学年の児童も「PCを文房具と同じように扱う」という感覚を得ることができた。
どの教科の授業でもすぐに開いて扱っている。
- ・ 児童にPCを活用させるために、教師も必然的にスキルを学ばなければいけない環境になり、GIGA研修の参加へも前向きになっている。
- ・ PCを活用することで、今までの学習活動よりも、できることが増え、指導の幅が広がった。「リモート授業をするため」ではなく、「学習活動・学習指導をよりよいものにするために」という意識改革にもつながった。

全体を通しての課題

- ① GIGA年間計画に記した「1日2回以上のPCの活用」という項目に関しては、達成率70%前後。「授業でどんどん活用できるようになってきた」と判断してよいのかどうか。
- ② 児童の学習評価、学習指導に活用すると時間効率が良くなった反面、まだまだ準備に時間がかかることと研修の時間が増えてしまったことにより、業務の効率化につながっているかどうか判断しづらい。
- ③ 「とにかく使ってみた」という意識の元、授業で活用されていることがまだまだ多いので、PC活用の幅が広がらない。
- ④ 学年間の差、学年内でのクラス間の差が開きつつある。
- ⑤ AIドリルを活用することで、学力・学習状況をつかみやすくなった。しかし、その状況を把握して
それぞれにあった個別の指導に活かすというレベルにまで使いこなせているわけではない。

課題を改善するために①

- ・ 校内研修をより実践的な内容にし、充実させる。（課題①②③④に対して）

→PCを活用した教材研究の時間の確保。校内研修中に扱うアプリ、サイトを絞り、それを活用した授業展開や適用題の作成等を行い、スキルアップと教材研究の時間を作る。またこのような機会を増やすことで、各学年内でのクラス間差をなくすことにもつながると予想される。

- ・ アプリやサイトのよりよい実践方法を知る。（課題②③に対して）

→このアプリ、サイトを活用すれば、どのように学習・業務の効率化が図れるのかについて、よりよく知る機会を増やす。また、授業での活用の幅を増やせるようにしていきたい。

課題を改善するために②

- ・国語，算数でクラス全体にあった指導や個別最適化した指導を研究していく。

(課題③④⑤に対して)

→AIドリル等で既習学習のどのような点を苦手としているのか，クラス全体の様子を把握する。そして，その苦手項目とつながる単元を重点単元として選び，復習を学習展開で行いつつ進められる授業展開を研究する。

(例：4年生の「分数」で，「分数のたし算・引き算」を苦手とする児童が多かった。

→5年生の「分数」の「異分母分数のたし算・ひき算」の学習をする時間に，
「4年生までの同分母分数のたし算・ひき算」を復習する。)